

令和元年度 乙訓圏域障がい者自立支援協議会

就労支援部会 活動報告（案）

1 設置の目的、役割等

障がい者雇用の促進や圏域内の福祉就労における工賃向上など、障がいのある方の就労において多くの課題があることを認識し、その課題を具体的な取り組みの中で、整理し解決に向けた方針を示すため、平成29年度に就労支援部会として発足しました。一般就労と福祉就労の課題について協議をしています。

2 昨年度までの経過

平成28年度に立ち上げた「就労支援に関する準備会」で整理された課題や方針をもとに平成29年度に就労支援部会を立ち上げました。

庁内実習の試行や圏域内企業での障がい者雇用の状況や取り組みを聞き取り、企業での障がい者雇用に対する課題の抽出を行い、課題の解決の一つとして障がい者の就労支援ネットワークの必要性について協議しました。

また、圏域内の就労継続支援A・B型事業所に工賃向上への取り組みや就労支援の実態などの聞き取り調査を行い、報告書としてまとめました。同時に企業から受注可能な作業と自主製品についての聞き取りも行い、一覧にとりまとめました。

3 今年度の取り組み状況 部会

第1回 令和元年6月21日（金）13：30～

- 1)各委員の自己紹介
- 2)部会長、副部会長の選出
- 3)昨年度の取組報告
- 4)本年度の活動の進め方について
- 5)その他

第2回 令和元年8月22日（木）13：30～

- 1)庁内実習の実施について
- 2)就労交流会の活動報告（OPEN DAY）
- 3)その他

第3回 令和元年11月19日（火）13：30～

- 1) 庁内実習の報告と今後の実施について
- 2) 就労交流会の提案について
- 3) その他

第4回 令和2年1月27日(月) 13:30～

- 1) 庁内実習のまとめについて
- 2) 就労交流会の報告について
- 3) 本年度の活動のまとめと来年度の取り組みについて
- 4) その他

第5回 令和2年3月2日(月) 13:30～

- 1) 今年度のまとめと次年度について
- 2) 就労交流会からの報告について
- 3) その他

*第2回～第4回部会終了後、発達障がい者の就労についての勉強会を行いました。

4 今年度の活動内容

(1) 乙訓圏域内の庁内実習の実施について

別紙のとおり京都府及び二市一町で実習を行うこととし、圏域内就労支援事業所に実習者の募集をしました。平成30年度に作成した行程表を元に事前の面談や日程の調整等を行いました。実習生募集の締め切り日の設定や実習先の受け入れ態勢などの課題も見えてきたため、庁内実習の目的や意義などを再確認しました。

<資料1>

(2) 障がい者雇用促進について

平成30年度までの部会での協議を受けて令和2年度立ち上がった企業関係者、福祉関係者を構成メンバーとする「乙訓就労交流会」と連携を図りました。乙訓就労交流会では、企業に「働く」障がい者の理解を促すための取り組みとして実施した「OPEN DAY」、商工会と障がい者が一緒に行う就労体験、障がい者雇用に取り組む新たな企業に対しての働きかけや実践内容を共有しました。また、就労支援事業所への協力要請や情報提供などを行い、連携を深めました。

<資料2>

5 次年度の課題と方針

(1) 乙訓圏域内の庁内実習について

庁内実習の実習期間や内容は、受け入れ側の行政の協力もあり、福祉部局以外からの仕事の切り出しなどで増加しています。就労継続支援 A・B 型事業所の利用者からの実習希望者が限られていることが庁内実習の調整を行った結果明らかとなりました。

令和 2 年度も庁内実習を継続し、庁内実習を通じて浮かび上がった課題に対応し、就労を進めるにあたっての課題の抽出やその解決方法を実践を通じて協議していきます。

(2) 障がい者雇用促進について

引き続き乙訓就労交流会との協力連携を強化し、障がい者の雇用の一層の促進を図っていきます。

(3) 福祉施設での就労支援について

庁内実習の実習希望者に就労継続支援 A・B 型事業所の利用者の希望が少ない現状です。障がい者の可能性を拓ける役割を担う福祉施設の就労支援について実際の取り組みや現状を把握した上で、今後の障がい者就労支援のあり方について協議を行います。

<添付資料>

資料 1 令和元年度庁内実習一覧

資料 2 乙訓就労交流会(ネットワーク会議)概要

2019年度 庁内実習実施一覧表

	受け入れ部局	実習時期・日数	作業内容	参加希望者
大山崎町役場	福祉課	10月3日	障害者スポーツ大会 景品詰め(競技で使用する景品を紙袋に詰める作業)	若竹苑1名
		11月13日	会議資料のコピー・セット作業	若竹苑1名
京都府	乙訓保健所	1月16, 17日	貸付金申請書等の資料セット作業	支援校1名
		2月17, 18日	貸付金申請書等の資料セット作業	ピオニー1名
	乙訓教育局	1月16, 17日	簿冊ラベル貼付 交換使用封筒づくり 名刺作成等	支援校1名
長岡京市役所	障がい福祉課	1月14~17日	リンクブック作成 ポチ袋作成 ・冊子への差し込み	支援校1名 ピオニー1名
向日市役所	障がい者支援課	12月10日	子供向けイベント「あそびの広場」で実施するクラフトの準備	ステージ1名 ピオニー1名

乙訓就労交流会（ネットワーク会議）

1. 設置の背景

乙訓圏域障がい者自立支援協議会では、平成 28 年度「就労支援に関する準備会」を、平成 29 年度に「就労支援部会」を設立しました。

29 年度・30 年度にかけて圏域全ての就労継続支援事業所 A 型・B 型事業所の現状を把握し、福祉就労の抱えている課題を抽出し、今後の方向性を協議しました。また、自立支援協議会として、企業への障がい者雇用促進に向けた働きかけと、庁内実習の試行・実施を行いました。特に、30 年度は企業へのアプローチに力を入れ、京都中小企業家同友会の協力を得ながら、乙訓支部の企業を訪問し、障がい者雇用の現状や課題についての意見交換を実施しました。そこで得た繋がりをもとに、乙訓圏域の就労交流会（ネットワーク）の構築が期待されています。

2. 設置の目的

障がい者の自立や社会参加の充実のために、「働く」をテーマにした時、企業と障がい者のマッチングだけではなく、彼らを取り巻く関係機関との連携・情報交換が必要だと考えます。支援に関わるすべての人や機関が、それぞれの立場や役割、専門性を発揮し、本人の特性や能力を活かした支援を具体的に考える必要があります。

さまざまな関係者や関係機関を繋ぐ地域の就労交流会は、障がい者理解・障がい者雇用を促進することを目的としています。

3. 構成メンバー

企業・福祉・労働・教育・行政・医療
(事務局：しょうがい者就業・生活支援センターアイリス)

4. 内容

①企業の福祉事業所・支援学校見学会

「OPEN DAY」ー来て！見て！誘って！ー

②交流会の開催

企業同士の障がい者雇用に向けた取組や不安の共有
障がい者雇用のノウハウなどの情報交換会

③就労研修会

各機関の紹介・学習会・事例検討・グループワーク等
「障がい者雇用企業メリットについて」等

④（将来的に）企業実習の試行

就労支援部会で培った庁内実習のノウハウを活かし、企業実習の試行

5. 会議の開催について

開催回数：事務局メンバーのみ（偶数月） 全体（奇数月）

開催時間：平日 15 時～17 時（原則第 3 月曜日）

場所：（可能な限り）乙訓保健所

広報：メール（メーリングリスト配信）

（将来的に得意な企業や支援機関があれば、ホームページ発信も検討）

運営方法：ワーキングチームに分かれて進める。全体会議参加者にも分かれてもらう。